

ピアカウンセラー養成研修実施

日本で自立生活センターを運営し、自身もピアカウンセラーとして活躍されている障害当事者を短期専門家として招き、ピアカウンセラー養成研修を実施しました。今回の研修は前半3日間のリーダー講座と後半4日間の基礎講座の2部構成で、前半のリーダー講座を受講した2名のシリア人ピアカウンセラーが後半の基礎講座のリーダーを務め、短期専門家のアドバイスを受けながらリーダーとしての実務経験を積むと共に10名の新規ピアカウンセラーの育成を行いました。互いの気持ちを深く聞き合うことを基本とするピアカウンセリングセッションやその方法について学ぶ基礎講座では、一般の研修以上に言語の壁が問題となります。そのため、アラビア語を母語とするピアカウンセラーの中から集中講座を実施できる人材が生まれたことは、ヨルダンやシリアといった中東地域におけるピアカウンセリング拡大にとって、大きな一歩であるといえます。今後は、彼らの活動が円滑に進むことを目的として、話し合いや情報交換の場を設けて行く予定です。



集中講座の実施方法を学ぶリーダー候補生



集中講座内の個別セッション風景



集合写真

聴覚障害者への 就労準備研修実施

ジョブコーチトレーナーの一人が勤めるアラブ人材育成センターが、聴覚障害者の女性13名に対して就労準備研修を実施しました。実施に先立ち、労働省へも支援要請があり、当日はプロジェクトメンバーの障害者雇用局職員が出向き、障害者の就労に関する権利等についての講義を担当しました。

観光地のアクセス確認

ピアカウンセリング研修の合間を縫って、観光開発支援を行うJICA専門家と共に、カラク城とその周辺のアクセス確認を行いました。一見スロープがあるように見えても、車椅子で進んでみると途中でまじかいけない場所等、様々な気づきがありました。



車椅子では進めない坂道